

Q13 選挙があることをお知らせする広報の手段として、あなたが効果的だと思うもの「その他」の回答

- 選挙カーで大音量をふりまく候補者には絶対投票しない
- 政治に関心を持たせること、関心を持てば自ずと情報を取りに行きだす。
- 高知市のLINE
- アンパンマンのイベントなら子育て世代に効果あると思います
- 候補者の板だけで上等
- LINEとかでお知らせがあるとわかりやすい

Q14 令和5年に実施された5つの選挙がいずれも前回の投票率を下回ったことについて「その他」の回答

- 個人の意識が低すぎる、他人が対策を講じることで無いと思うが
- 地方自治体では不可能であるので、全国知事会と連携して全国市長会でも「50%を切れば再選挙」の法律を要望すべき。
- 候補者ともっと接する機会が欲しい。
- 世代別の投票率の増減が知りたい。そちらの方が重要と思う。
- 政治への不信感があるからこそ選挙へ行くことが、政治を変えることになると思うし、そこをもっとアピールしていただきたいです。
- 自分も行けなかったので、申し訳なくおもう。
- 候補者が多すぎると、数名の演説しか伝わらなくて、その聞けた演説の方がいまいちだけであって、聞けていない方で、良い演説をされてたのかなと思い、多すぎのはやめてほしい。
- ネット投票を解禁すべきでは。投票にかかる時間コストが大きすぎる。

Q15 あなたが考える、投票率低下の理由に近いもの「その他」の回答

- 個人のたいまん
- 知事選挙では投票以前に「結果が見えていた？」ような選挙であったこと。市長選挙は「知事選挙と同時」であるため選挙活動期間が非常に短かったこと。
- どんな政策を口にしても選挙のためのお題目に過ぎないとおもうから
- 差し迫って社会の変革を望まない人が多くなってきている。
- 若者への政策が少ないように感じる。よく投票をする世代に向けた政策が多いかも。
- 日本では、海外にくらべて幼少期や青年期に、政治や選挙への感心を促すことが少ない。またはタブーとされる風潮や文化に問題があると考えます。世の中の政治というものがもっとクリーンになって、子供や若い子に政治や選挙にもっと興味を与える機会を学校や市のが作るべきだと思います。
- 選挙前の短期間に候補者が選挙カーや、街頭演説してもいまひとつ…興味持てない。選挙の時だけの活動にしか感じられない。もう少し長い期間選挙活動してその人の行動などが感じられるような工夫が欲しい。
- 候補者の事がよく分からなかったから。
- ろくな候補者がいない
- 自分のためになる方いたら、進んで投票にいつている。いなかったら行かないだけです。
- 誰に投票して良いかわからない、が積極的に調べるのはめんどくさい、投票の結果に責任を持ちたくない、という若い人が増えている。
- まともな政治家がほとんどいない